



能-BOX
開館10周年

日時：2021年9月11日(土) 18:30 / 9月12日(日) 14:00

*受付開始・開場は開演の30分前

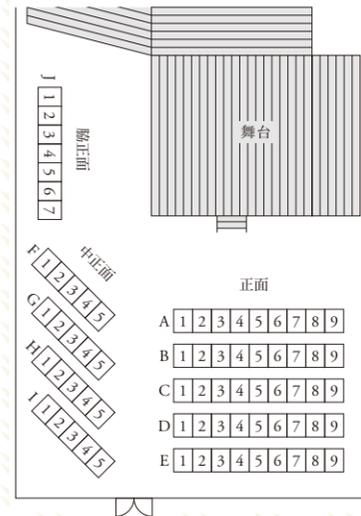
劇場鑑賞券・オンライン配信視聴券ともに8月11日(水) 10:00～ 発売

*オンライン配信は9月11日公演をライブ配信し、
配信終了後は9月17日21:00までアーカイブ配信を行います。

●劇場鑑賞券

料金 前売 全席指定 6,000円

*当日500円増 *未就学児入場不可



お願いとお知らせ

※ご来場当日はマスク等の着用および受付時の検温にご協力ください。当日の体調に不安がある場合はご来場をお控えいただきますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策のため、状況により通常より座席を少なく配置する可能性がございます。感染症対策についてはご来場前に当館公式サイトをご覧ください。

※ご提供いただいた個人情報は厳正に取扱い、感染症拡大防止以外の目的には使用いたしません。また、保健所等の公的機関より要請があった場合には情報提供を行う可能性がございます。※今後の状況により、公演を中止または延期する可能性がございます。

お問い合わせ

せんだい演劇工房10-BOX

TEL:022-782-7510(10:00～21:00)

E-mail:contact@gekito.jp



詳しくは
公式サイトを
ご覧ください。

能-BOX開館10周年記念公演 創作舞

雨ニモマケズ

原作：宮沢賢治作品群より

監修：津村禮次郎

振付演出：森山開次

日時：2021年9月11日(土) 18:30 / 9月12日(日) 14:00

会場：能-BOX(仙台市若林区卸町2-15-6)

[購入方法]

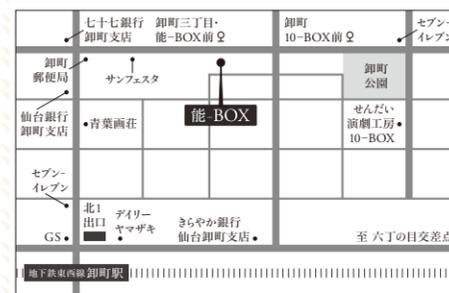
◎せんだい演劇工房10-BOX(10:00～21:00) *窓口のみ

◎チケットぴあ(Pコード507-234)

WEB: <https://w.pia.jp/t/nohbox/>

TEL:0570-02-9999(自動音声対応)

店頭：セブン-イレブン



会場：能-BOX(仙台市若林区卸町2-15-6)

[アクセス]

○地下鉄：仙台駅より地下鉄東西線卸町駅下車、[北1]出口より徒歩約10分(所要時間約20分)。

○市営バス：仙台駅前50番バスのりばより、花京院・国立病院・卸町会館経由小鶴新田駅行「卸町三丁目・能-BOX前」下車(所要時間約25分)。バス停向かいの銀色の倉庫が能-BOXです。

○車：近隣有料駐車場をご利用ください。

●オンライン配信視聴券(WEB購入のみ)

料金 3,000円 *おひとり様1枚まで

*9月17日17:59まで購入可能です。

[購入方法]

◎チケットぴあ(Pコード787-364)

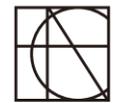
WEB: <https://w.pia.jp/t/nohbox-pls/>

主催：公益財団法人仙台市市民文化事業団、仙台市

協賛：協同組合仙台卸商センター

企画・制作：せんだい演劇工房10-BOX

令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



能-BOX

能-BOX開館10周年記念公演 創作舞

雨ニモマケズ

倉庫の中に能舞台。2011年8月の開館から今年で10周年を迎える「能-BOX」からお届けするスペシャルステージです。舞と音楽で豊かに表現される宮沢賢治の世界！

第1部 スペシャルコンサートプログラム

祝賀謡 四海波	津村禮次郎
一管 真之音取	田中義和(笛)
ひいいずる(作曲:Atoa.)	高橋勅雄(和太鼓)
	高橋亮(鳴り物)
	田中義和(笛)
たれかおもはむ(詩:島崎藤村 作曲:澤村祐司)	
陸奥プレリュード(作曲:関口将史)	関口将史(チェロ)
	澤村祐司(箏)
春なのに(作詞・作曲:菅野祥子)	
誰も寝てはならぬ《トゥーランドット》より	福井敬(歌)
	関口将史(チェロ)

— 休憩20分 —

第2部 創作舞『雨ニモマケズ』

原作	宮沢賢治 作品群より
監修	津村禮次郎
振付演出	森山開次
作曲	渋谷牧人
舞人	森山開次 大前光市 津村禮次郎
歌唱	福井敬
チェロ	関口将史
箏	澤村祐司
笛	田中義和
和太鼓	高橋勅雄
後見	山中透晶
衣装	藤崎 コウイチ
舞台美術	倉田康治(草月流)

スタッフ

舞台監督 石井忍(有限会社舞台監督工房)
照明 斉藤孝師(株式会社東北共立)
音響 寶玉浩太郎(有限会社コントライブ)
映像 株式会社ビデオアートプロ
宣伝美術 古川哲哉

出演者・曲目等公演内容が変更になる場合があります。

監修・舞人 津村禮次郎 ツムラレイジロウ

能楽師シテ方観世流。緑泉会会主。重要無形文化財(能楽総合)指定保持者。(社)日本能楽会、公益財団法人能楽協会会員。二松学舎大学文学部特任教授。一橋大学社会学部講師。大学在学中に一橋観世会に所属し、津村紀三子に師事。1969年観世流師範。74年に緑泉会会主。91年重要無形文化財保持者に認定される。79年より小金井薪能を企画制作。新作能、創作活動、海外公演も多く、森山開次などのダンサーとも共作、共演している。2010年度文化庁文化交流使としてロシア、ハンガリーで指導交流を行う。著作に「能・狂言図典」「能がわかる100のキーワード」。また「舞幻(BUGEN)」を出版。その他、写真集「能」(PIE BOOKS)等に多数掲載される。2015年にはドキュメンタリー映画「躍る旅人 能楽師・津村禮次郎の肖像」(三宅流制作監督)が公開された。



写真:石塚定人

振付演出・舞人 森山開次 モリヤマカイジ

ダンサー・振付家・演出家。自身の演出振付するソロ作品『KATANA』で2005年ニューヨーク・タイムズ紙にて「驚異のダンサー」と評され、07年ヴェネチア・ビエンナーレ招へい。13年『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞他3賞を受賞。同年東京国体開会式典演技メインパフォーマー、文化庁文化交流使。津村禮次郎氏とは03年『弱法師』以降能をモチーフとした作品制作を行い、能-BOX開館記念『Shakkyou』ほか国内外で共演。19年『ドン・ジョヴァンニ』でオペラ初演出、20年新国立劇場バレエ団『竜宮』演出振付など、ダンサー、演出家の両面で精力的に活動を展開している。



写真:石塚定人

舞人 大前光市 オオマエコウイチ

交通事故により足を失った義足のダンサー。大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース卒業。リオ・パラリンピック閉会式にソロで出演したことをきっかけに世間から注目されるようになり、第68回紅白歌合戦にて平井堅と共演、その後のNHKスペシャルにて特集される。ラスベガスにてJABBA WOCKEEZ「jreamz」に出演するなど国内外の舞台で活躍しており、テレビ、ラジオ、CM、GQなどのファッション雑誌やメディアへの出演も多い。最近では、しながわ2020スポーツ大使、横浜文化プログラム2020プロデューサー、東京2020聖火ランナーも務めた。「ぼくらしく、おどる」(学研プラス)著者。



作曲 渋谷牧人 シブヤマキト

1976年宮城県仙台市出身。宮城教育大学教育学部卒。東京都在住。作曲を木村政巳に師事。オーケストラや室内楽等のクラシック音楽をベースとした、心地よく耳に残るメロディと優しいサウンドを得意とする。オーケストラや室内楽、伝統楽器とのコラボレーションなどの経験が多数あり、演劇・舞台音楽への楽曲提供も行っている。オリジナルの活動としては、宮城県において大学在学中より室内楽団「Ensemble PATATA」の結成メンバーの一人として活躍し、同楽団の演奏会において新作を発表し続けた。また近年ではアレンジャーとしても台湾での人気も高まるなど、国内外のアーティストからも依頼を受け多方面にわたり活動している。

歌唱 福井敬 フクイケイ

岩手県出身。国立音楽大学及び同大学院修了。文化庁在外派遣等により渡伊。第65回芸術選奨文部科学大臣賞をはじめ国内外の賞を多数受賞。二期会『ラ・ボエーム』での鮮烈デビュー以来、数々のオペラに主演。特に『トゥーランドット』カラフ役は絶大な賞賛を得ている。ウィーン・フィル等のオーケストラと共演し、小澤征爾やズビン・メータ等の指揮者からの信頼も厚い。今年4月にはクラウドファンディングによるオペラ・アリア集「福井敬〜朝は薔薇色に輝き」をリリース。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



チェロ 関口将史 セキグチ マサブミ

3歳からチェロを始める。都立芸術高校音楽科、東京藝術大学器楽科を卒業。スタジオワーク、アーティストのサポート演奏、編曲、レコーディングを中心に、自身の主宰するプロジェクト運営まで幅広く音楽活動を展開するチェロ奏者。石川さゆりバンド、菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラルのメンバーとして活動。



箏 澤村祐司 サワムラ ユウジ

金津千重子に師事。東京藝大を経て同大学院修了。古典等の演奏の他、作編曲にも取り組む。第2回八橋検校日本音楽コンクール八橋検校賞、第19回くまもと全国邦楽コンクール優秀賞受賞。2015年18年にリサイタル開催。ソプラノ歌手 小林沙羅3rdアルバム「日本の詩(うた)」に録音参加。熊本県立松橋西支援学校の校歌作曲。朗読ミュージカル「山崎陽子の世界」に演奏と作曲で参加。宮城社師範。(株)セールスフォース・ドットコム所属アーティスト。筑波大学附属視覚特別支援学校、明治大学三曲研究部非常勤講師。詩と音楽のVOICE SPACE代表。公式サイト「生田流箏曲家澤村祐司の部屋」。



笛 田中義和 タナカ ヨシカズ

昭和51年生まれ。2歳で府中囃子 船橋流 車返囃子連に所属。村野次郎に師事。20歳の時に国立能楽堂 第五期能楽(三役)研修生として笛方一噌流 一噌幸政幸弘に師事。『狸々乱』『石橋』『翁』『三番叟』などを抜く。23歳で江戸祭囃子及び里神楽を相模流 神楽師 関口周美に師事。



和太鼓 高橋勅雄 タカハシトキオ

2004年に【鼓童】に入団。2011年まで正式メンバーとして、活動。東日本大震災直後に【鼓童】を退団し、地元仙台に戻り【Atoa.】を結成。8月には、重要無形文化財指定保持者津村禮次郎氏との共演を果たす。能楽演目からヒントを得た新しい和太鼓のコンサートの世界を造りあげるなど、舞台演出面でも数多くの作品を手掛けている。2017年には、GINZASIX観世能楽堂にて、小尻健太・酒井はならダンサーともコラボレーションを展開し、演奏隊としても参加。2020年には舞台【TRANCEST】を演出統括で発表。作品は、文化庁・宮城県多賀城市の採択事業としても扱われ、新しい生活様式に見合った舞台演出構成としても認められている。



2019年小金井薪能「雨ニモマケズ」 撮影:高野由紀